

家庭学習のてびき

中部中校区 山室山小学校版

1. 「家庭学習のてびき」についての考え方

小学校の学習は、将来、子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で学習したことは、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かなものになると考えます。ご家庭と学校との共通理解のもと、自立の基礎となる学力の定着をめざしていききたいと思います。ご協力を賜りますよう、お願い致します。

2. 家庭学習の約束

- ①家庭学習をする場所を決めましょう。
- ②家庭学習を始める時刻を決めましょう。
- ③ 1・2年生（20分～30分） 3・4年生（40分～50分）
5・6年生（60分以上）をめやすにして、とりくみましょう。
興味・関心のある内容や休日など時間が確保できるのであれば、さらに増やしていくとよいでしょう。（10分×学年+10分がめやすです。）
- ④テレビを消して、「ながら勉強」をせず、集中して学習しましょう。
- ⑤はじめに学校の宿題をして、時間があったら自主学習をしましょう。
- ⑥家庭学習が終わったら、すぐに次の日の準備をしましょう。

3. 家庭学習でつきたい力

- ①学習に集中する力
- ②最後までやり通す力
- ③継続して学習する力（学習の習慣）



がくりよく ていちゃく こうじょう
学力の定着・向上

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題ができる。 ・宿題以外の自主的な学習が少しずつできる。 ・少しずつ自分で答え合わせができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題が確実にできる。 ・宿題以外の自主的な学習にとり組むことができる。 ・自分で答え合わせができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に家庭学習に取り組むことができる。 ・どんなことにとり組むかを考え、必要感のある学習ができる。 ・自分で答え合わせができる。

4. 自主学習のしかた (自主学習ノートを作って取り組んでみましょう)

「1日1ページ」を基本に、始めます。

→ 慣れてきたら2ページ、3ページ・・・に挑戦します。

5. 自主学習の内容 (下記の内容は、一例です)

こくご 国語	さんすう 算数	しゃかい りか 社会・理科 そうごう せいかつ 総合・生活など
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・視写 (文章を写す) ・言葉の意味調べ ・日記 ・音読 ・テストやプリントの問題をもう一度解く。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やドリルの問題 ・計算練習 ・授業のノートを 見ながら復習 ・テストやプリントの 問題をもう一度解く。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことに関連した ことや興味をもったこと を、資料などで調べる。 ・授業で学習したことを もう一度ノートにまとめ る。 ・テストやプリントの問題を もう一度解く。 <p style="text-align: right;">など</p>

※他にも・・・

・自主学習には、前の学年で習った漢字や計算の復習もふくみます。

・新聞や読み物の感想をまとめてみましょう。

・国語辞典、漢字辞典、その他の図鑑を身近に置いて調べてみましょう

・自然や生き物とふれあい、観察をしてみましょう。

・詩や歌の暗唱をしてみましょう。



6. おうちの方へのお願い

①文字が正しく、ていねいに書いているかどうかを見てください。

(低学年の学習にはできるだけ付き添い、見守ってください。)

②お子さんが学習していることに興味をもち、「がんばったこと」「できたこと」を認めて、次の意欲につながるようにはげましてあげてください。

③「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣をつけ、健康に気を付けながら、毎日規則正しい生活ができるようにしてください。

④子どもが意欲的に家庭学習にとりくめるよう、おうちの方からのサインや感想などを書いて下さい。(学校から、見届けチェック表を定期的に配付します。)